

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組（No. 2）

提出都道府県名 政令指定都市名	仙台市
取組市町村名 取組団体・企業名	仙台市（健康福祉局生活衛生課）
取組の名称	各種媒体による食品衛生情報の提供
実施時期	令和4年4月～12月（6月除く）
取組内容	市政だより及び市ホームページを通じて食材や調理方法に起因する食中毒について情報提供し、食品等事業者や消費者に向けて食中毒予防の啓発を行いました。 【市政だより】 掲載記事 ・5月号「間違えやすい有毒植物にご注意！」 ・7月号「テイクアウトや宅配（出前）を利用する際の食中毒にご注意ください」 ・8月号「魚介類による腸炎ビブリオ食中毒にご注意ください」 ・9月号「ヒスタミンによる食中毒にご注意ください」 ・10月号「毒キノコにご注意ください」 ・11月号「ノロウイルスにご注意！」 【市ホームページ】 参考 URL（パンフレットダウンロード） https://www.city.sendai.jp/sekatsuese-shokuhin/kurashi/anzen/ese/shokuchudoku/download.html 掲載パンフレット、リーフレット例 ・「テイクアウトやデリバリーをはじめる営業者の皆さまへ」 ・「鶏さし・たたき、鶏レバー炙り等によるカンピロバクター食中毒が多発しています」 ・「ねえ、ノロウイルスって知ってる？」 ・「毒きのこによる食中毒を防ぎましょう」 ・「有毒植物による食中毒を防ぎましょう」 ・「魚肉すり身などによるヒスタミン食中毒にご注意！・寄生虫による食中毒にご注意！」

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組（No. 3）

提出都道府県名 政令指定都市名	仙台市
取組市町村名 取組団体・企業名	仙台市（環境局廃棄物事業部）
取組の名称	フードドライブ
実施時期	令和 4 年 4 月 4 日～令和 5 年 3 月 31 日
取組内容	市内 25 か所の回収拠点にフードボックスを設置し、家庭で眠っている余剰食品で賞味期限まで 1 か月以上ある常温保存が可能なもの（缶詰・インスタント麺・レトルト食品など）を回収しました。回収した食品は、フードバンク団体等を通じて被災者・生活困窮者の支援を行っている団体・施設及び子ども食堂等は無償提供しました。 4 月から 11 月までの回収量は、約 15,756kg です。

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組（No. 4）

提出都道府県名 政令指定都市名	仙台市
取組市町村名 取組団体・企業名	仙台市（若林区保健福祉センター家庭健康課） 東六郷・東部かあちゃん‘ず’
取組の名称	六郷健康レシピ作成・配布
実施時期	令和4年4～7月 （レシピ発行・配布は7月）
取組内容	【目的・特徴】 レシピを通じて健康的な食生活について啓発することで、住民が普段の食生活を振り返り改善するきっかけとすることを目的としました。また、住民とともにレシピを考案することで、地域で採れる農産物を活かし、地域の生活に根ざしたレシピづくりにつなげる他、レシピ考案者自身が健康的な食生活について理解・関心を深め、それぞれの家庭や地域への波及につなげることを狙いとしました。 【連携先】東六郷・東部かあちゃん‘ず’ 東日本大震災の被害が大きかった東六郷・東部地域の女性たちが集まり、悩みや不安を言い合う場、地域のこれからを考える場としてH28年に発足しました。「ふるさとを盛り上げたい!」と、地域のお祭りへ協力するなど活動しています。 【内容・工夫した点】 六郷地域は農業が盛んで、地場産品がたくさんあります。その中でも夏に採れる野菜を1つ選び、それを使ったレシピを2つ作成しました。事前に地域の健康課題を共有し、適塩を意識しました。また、メニュー名も興味を惹くことや地域の方に身近に感じていただけることを意識して検討しました。     【配布先・配布数】 六郷地区各世帯へ配布・回覧する広報誌（2,500部発行）への掲載 地域のスーパーマーケットや市民センター、郵便局等での配架（500部） 掲載ページ（仙台市ホームページ）：https://www.city.sendai.jp/waka-zoshin/wakabayashiku/kenko/kenkozukuri/kalatyannzu.html

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組（No. 5）

提出都道府県名 政令指定都市名	仙台市（泉区保健福祉センター家庭健康課）
取組市町村名 取組団体・企業名	仙台市（泉区保健福祉センター家庭健康課） 東北生活文化大学
取組の名称	東北生活文化大学 大学祭 食育ブース（食生活に関するパネル展）
実施時期	令和4年10月15日（土）、16日（日）
取組内容	東北生活文化大学との食育連携事業で、学生が作成したニューズペーパーや、健康づくりキャッチコピーの作品を中心に掲示しました。 また、若い世代で朝食の欠食や野菜の摂取量が少ないことから、朝食や野菜の摂取を促すパネル掲示やレシピの配布、野菜料理等のフードモデルの展示などを行いました。掲示物に関連する食生活クイズも実施し、参加者には参加賞を渡しました。掲示物にクイズの答えが隠されていたため、皆さん関心を持って掲示物を見ている様子が伺えました。大学祭であったため、様々な世代の方々に啓発する機会となりました。 【食育ブースの様子】    